

平成24年度
由利本荘市行政評価
外部評価実施報告書

概要版

平成24年10月
由利本荘市外部評価委員会

【 目 次 】

はじめに	P. 1
I 外部評価の概要	P. 2
1. 外部評価の実施方針	P. 2
2. 平成24年度外部評価委員会における新たな仕組みの導入・実施	P. 2
(1) 評価対象事業数の見直し	P. 2
(2) 評価基準表の見直し	P. 2
3. 外部評価委員	P. 6
4. 外部評価委員会の開催経過	P. 6
5. 平成24年度評価対象事業	P. 7
6. 由利本荘市の行政評価システム	P. 8
7. 外部評価の進め方	P. 10
(1) 現地調査	P. 10
(2) ヒアリング調査	P. 10
II 外部評価の結果	P. 11
1. 平成24年度由利本荘市行政評価結果	P. 11
2. 評価対象事業の外部評価結果	P. 12
(1) 地域づくり推進事業	P. 12
(2) 市町村有償運送（コミュニティバス）への再編	P. 13
(3) 地域おこし協力隊事業	P. 14
(4) 本荘中央地区土地区画整理事業	P. 15
(5) 鳥海地域統合小学校建設事業	P. 16
(6) 図書環境整備事業	P. 17
(7) 農商工連携「五感」体験推進プロジェクト	P. 18
(8) 木材乾燥貯蔵施設建設事業	P. 19
(9) 子育て支援金支給事業	P. 20
(10) 水林球場改修事業	P. 21
(11) 道路維持事業	P. 22
(12) 指定管理者制度（対象施設：PR館おうち）	P. 23
III 総括及び提言	P. 24
1. 平成24年度外部評価作業を実施した所感	P. 24
2. 行政評価システム等について改善・工夫が必要な事柄	P. 28
3. その他意見等	P. 29

はじめに

由利本荘市では、平成18年度から行政による内部（自己）評価の取り組みが進められている。さらに、内部評価が市民の目線に立って行われているかを検証するため、評価の客観性と信頼性を確保することを目的として、平成22年度に専門家委員4名と市民委員4名の8名で構成する外部評価委員会を設置し、平成23年度に公募委員2名を増員し、外部（第三者）評価の取り組みが進められている。

外部評価を導入して3年目となる本年度は、任期満了に伴い6名の委員が交代し、10名の委員を5名ずつの2班とした編制で外部評価を実施した。

評価対象事業は、由利本荘市で平成23年度に実施された重点施策（主要事業等）のうち、市の裁量の余地がないもの等を除いた全121事業の中から、12事業（ハード事業5件、ソフト事業7件）を外部評価委員会で選定した。

本報告書は、以上の12事業を対象に市が実施した内部評価の結果と、外部評価委員会が実施した評価の結果をまとめたものである。

行政評価は、各自治体において様々な方法で取り組まれているが、その方法については行政評価を実施していく過程において試行錯誤が繰り返されている状況にある。本市においても、昨年度の外部評価委員会で提言された評価の実施方法等に関する意見を参考に、評価対象事業の数を絞り込み一つの事業の評価に充てる時間を増やすなど、昨年度の行政評価とは異なる取り組みを実践したところである。

その一方で、昨年度までと同様に、現地調査や事業担当課へのヒアリングを実施し、委員会での慎重な審議に努めている。

今後、本報告書がより良い市政の実現に役立つことを期待するものである。

平成24年10月 由利本荘市外部評価委員会

I 外部評価の概要

1. 外部評価の実施方針

行政評価を実施するにあたり、行政内部の「自己評価」は一定の限界を有している。そこで、行政評価のプロセスに市民等の参加機会（第三者の視点）を確保することにより、内部評価の透明性・客観性の向上を図ることを目的として、外部評価委員会による事務事業評価を実施することとした。

平成24年度外部評価では、平成23年度に市が実施した事務事業の中から外部評価委員会が評価対象事業を選定し、市が評価対象事業の内部評価を実施した後、外部評価委員会は内部評価結果を受け、事務事業の今後の方向性に関する提言や改善提案を行うこととした。また、平成23年度に引き続き、外部評価制度の実施方法等に関する提言も行うこととした。

2. 平成24年度外部評価委員会における新たな仕組みの導入・実施

平成24年度外部評価委員会では、二つの新たな仕組みを導入・実施した。一つ目は評価対象事業数の見直し、二つ目は評価基準表の見直しである。

(1) 評価対象事業数の見直し

平成23年度は、平成22年度に市で実施した重点施策（主要事業等）全204事業のうち、18事業（ハード事業9件、ソフト事業9件）を評価対象事業として選定したが、評価を担当した外部評価委員からは、1つの事業の評価にかかる時間をもっと取ってほしいという意見が多かった。

そのため、平成24年度は、評価対象事業の数を18件から12件に絞るとともに、一つの事業の評価にかかる時間を1.5倍とすることにした。

なお、平成24年度の評価対象事業や、評価対象事業を選定するにあたっての視点等については、後述の「5. 平成24年度評価対象事業」において詳しく説明する。

(2) 評価基準表の見直し

平成23年度の外部評価委員会で、「評価基準表のあまり〇〇していないという表現は基準が曖昧である」という提言があったことから、平成24年度は「①必要性」の「2点」を「あまり対応していない」から「対応している」に、「②有効性」の「2点」を「あまり機能していない（あまり機能しないと考えられる）」から「機能している（機能すると考えられる）」に、「③効率性」の

「2点」を「あまり効率的には実施されていない」から「効率的に実施されている」に改めた。

なお、新旧の評価基準表は、図－1及び図－2のとおりである。

【第1回外部評価委員会の様子】



(図-1) 由利本荘市の新評価基準表 (平成24年度からのもの)

平成24年6月

項目名	評価基準					評価時のポイント (評価の際に何を判断材料とするか)
	評価項目の視点	← 改善の必要性 →				
		低い	3点	2点	高い	
評点	4点	3点	2点	1点		
①必要性	この事業の目的や内容は、市民ニーズや社会情勢の変化に対応しているか。	十分に対応している	かなり対応している	対応している	対応していない	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施の緊急性の有無 税金を投入する必要性の有無 事業の民間（企業、NPO、自治会等）移管の可能性の有無 など
②有効性	この事業は、市が抱えている課題を解決するための手段として機能しているか、または、機能すると考えられるか。	十分に機能している（十分機能すると考えられる）	かなり機能している（かなり機能すると考えられる）	機能している（機能すると考えられる）	機能していない（機能しないと考えられる）	<ul style="list-style-type: none"> 過去に実施された同じ事業や類似事業との成果比較 など
③効率性	この事業は、他自治体や本市における類似事業と比べて効率的に実施されているか。	十分効率的に実施されている	かなり効率的に実施されている	効率的に実施されている	効率的には実施されていない	<ul style="list-style-type: none"> 費用対効果（他自治体や本市における類似事業との比較） など
④公平性	この事業の目的や内容は、受益者が少数または特定の市民・団体等に限定されていないか。	限定されていない（広くサービス供給されている）	あまり限定されていない	かなり限定されている	限定されている	<ul style="list-style-type: none"> 非合理的な事業目的、事業実施根拠、事業内容による受益者限定の有無 など
基本的なスタンス	達成率	81%以上	80%～71%	70%～61%	60%以下	評価にあたって 数値的な目安となるもの
	考え方	目的が十分に達成されている	目的がかなり達成されている	目的があまり達成されていない	目的が達成されていない	

◎評点の合計により下記の評価とする。

評価	A：16点～14点 ← 計画通りに達成できた。
	B：13点～11点 ← おおよそ計画どおりに達成できた。
	C：10点～8点 ← 見直しの検討を要する。
	D：7点～4点 ← 大幅な見直しを要する。

(図-2) 由利本荘市の旧評価基準表(平成23年度のもの)

平成23年6月

項目名	評 価 基 準					評価時のポイント (評価の際に何を判断材料とするか)
	評価項目の視点	← 改善の必要性 →				
		低い	3点	2点	高い	
評点	4点	3点	2点	1点		
①必要性	この事業の目的や内容は、市民ニーズや社会情勢の変化に対応しているか。	十分に対応している	かなり対応している	あまり対応していない	対応していない	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施の緊急性の有無 税金を投入する必要性の有無 事業の民間(企業、NPO、自治会等)移管の可能性の有無 など
②有効性	この事業は、市が抱えている課題を解決するための手段として機能しているか、または、機能すると考えられるか。	十分に機能している(十分機能すると考えられる)	かなり機能している(かなり機能すると考えられる)	あまり機能していない(あまり機能しないと考えられる)	機能していない(機能しないと考えられる)	<ul style="list-style-type: none"> 過去に実施された同じ事業や類似事業との成果比較 など
③効率性	この事業は、他自治体や本市における類似事業と比べて効率的に実施されているか。	十分効率的に実施されている	かなり効率的に実施されている	あまり効率的には実施されていない	効率的には実施されていない	<ul style="list-style-type: none"> 費用対効果(他自治体や本市における類似事業との比較) など
④公平性	この事業の目的や内容は、受益者が少数または特定の市民・団体等に限定されていないか。	限定されていない(広くサービス供給されている)	あまり限定されていない	かなり限定されている	限定されている	<ul style="list-style-type: none"> 非合理的な事業目的、事業実施根拠、事業内容による受益者限定の有無 など
基本的なスタンス	達成率	81%以上	80%~71%	70%~61%	60%以下	評価にあたって 数値的な目安となるもの
	考え方	目的が十分に達成されている	目的がかなり達成されている	目的があまり達成されていない	目的が達成されていない	

◎評点の合計により下記の評価とする。

評 価	A : 16点~14点 ← 計画通りに達成できた。
	B : 13点~11点 ← おおよそ計画どおりに達成できた。
	C : 10点~ 8点 ← 見直しの検討を要する。
	D : 7点~ 4点 ← 大幅な見直しを要する。

3. 外部評価委員

委員会は、専門家委員4名、市民委員4名、公募委員2名の下記10名で構成された。

なお、専門家委員及び市民委員の任期は平成26年3月31日まで、公募委員の任期は平成25年3月31日までである。

		氏名	所属・役職等	
専	委員長	谷内宏行	秋田県立大学システム科学技術学部 教授	新任
専	副委員長	山口邦雄	秋田県立大学システム科学技術学部 准教授	再任
専	委員	佐藤俊一	秋田しんせい農業協同組合 常勤監事	再任
専	委員	細矢育夫	株式会社三栄機械 代表取締役会長	新任
市	委員	松田訓	鳥海地域協議会 会長	新任
市	委員	田口正夫	由利本荘市社会福祉協議会 評議員	新任
市	委員	吉田朋子	由利本荘市商工会 女性部長	新任
市	委員	伊藤敏彦	NPO西滝沢子ども水辺協議会 事務局長	新任
公	委員	加藤富男		留任
公	委員	鎌田鈴夫		留任

※専＝専門家委員、市＝市民委員、公＝公募委員

4. 外部評価委員会の開催経過

	開催日	主な内容
第1回	7月13日	・平成24年度外部評価の実施方針の確認 ・評価対象事業の選定
第2回	9月6日	・2班体制で現地視察調査（9箇所） （事業担当課が現地で事業内容を説明）
第3回	9月19日	・2班体制で各2事業（計4事業）の評価を実施 （事業担当課及び内部評価担当者ヒアリング）
第4回	9月26日	・2班体制で各2事業（計4事業）の評価を実施 （事業担当課及び内部評価担当者ヒアリング）
第5回	10月3日	・2班体制で各2事業（計4事業）の評価を実施 （事業担当課及び内部評価担当者ヒアリング）
第6回	10月10日	・外部評価結果の内容確認・協議 ・外部評価報告書（案）の内容確認・協議

※第1回は由利本荘市役所正庁で開催

第2回は由利本荘市役所に集合後、2班に分かれて現地視察調査を実施

第3回～第6回は本荘由利広域行政センター学習ホールで開催

5. 平成24年度評価対象事業

平成23年度に実施された重点施策（主要事業等）全121事業のうち、委員の関心が高かった事業を選定した。また、1つの事業の評価にもっと時間をかけるべきという昨年度の外部評価委員会の提言に従い、昨年度の18事業（ハード事業・ソフト事業9件ずつ）から12事業（ハード事業5件・ソフト事業7件）に評価対象事業数を絞り込んだ。

〔ハード事業〕

事業No.	事業名	担当課	評価担当
II-009	木材乾燥貯蔵施設建設事業 【地域雇用創出推進基金事業】	農山漁村振興課	B班
IV-011	本荘中央地区土地区画整理事業	都市計画課	A班
V-001	鳥海地域統合小学校建設事業	教育総務課	A班
V-007	水林球場改修事業	スポーツ課	B班
VI-006	道路維持事業 【地域雇用創出推進基金事業】	建設管理課	B班

〔ソフト事業〕

事業No.	事業名	担当課	評価担当
I-003	地域づくり推進事業	地域おこし課	A班
II-006	農商工連携「五感」体験推進プロジェクト 【定住自立圏構想推進事業】	農業振興課	B班
II-021	市町村有償運送（コミュニティバス）への再編 【定住自立圏構想推進事業】	地域おこし課	A班
II-028	地域おこし協力隊事業	観光文化振興課	A班
III-015	子育て支援金支給事業	子育て支援課	B班
V-011	図書環境整備事業 【住民生活に光をそそぐ交付金事業】	生涯学習課	A班
VII-002	指定管理者制度（対象施設：PR館おうち）	商工振興課	B班

なお、慎重な評価を期するため、委員会を2班に分け、下記の各5名の委員によりA班及びB班を設置し、評価に要する十分な時間と委員の発言機会の確保に努めた。

A班 … 谷内委員長、佐藤委員、田口委員、伊藤委員、鎌田委員

B班 … 山口副委員長、細矢委員、松田委員、吉田委員、加藤委員

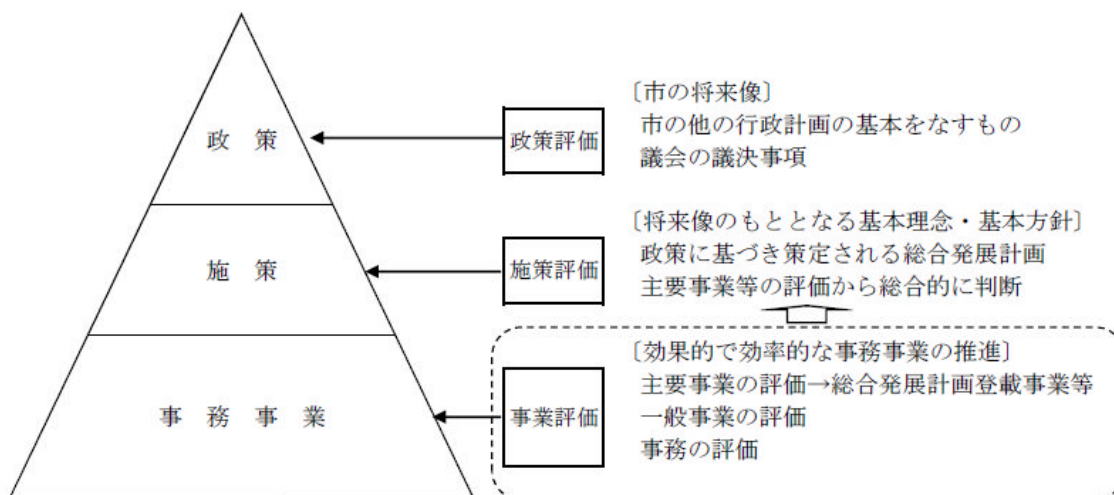
6. 由利本荘市の行政評価システム

本市の行政評価システムは、図－3に示すように、政策に対する政策評価、施策に対する施策評価、そして事務事業に対する事業評価で構成されている。本報告書は、これらの3段階の評価のうち、事業評価を実施した結果についてまとめたものである。

〔図－3〕 基本的な考え方（総合発展計画を基本として）

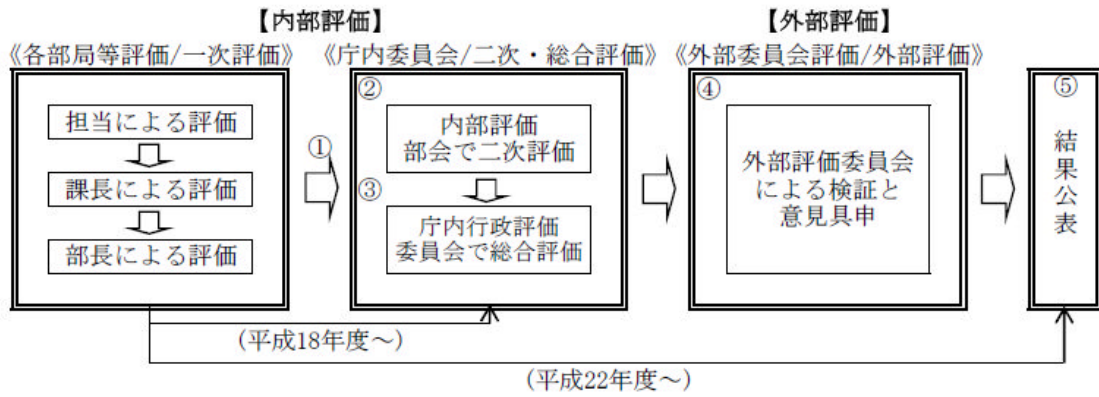
○政策・施策・事務事業

- ・ 政策 : 市の将来像「人と自然が共生する躍動と創造の都市（まち）」
- ・ 施策 : 将来像のもととなる基本理念（3つの柱）
基本理念をもとに、将来像を実現するためのまちづくりの目標（7つの柱）
- ・ 主要事業等 : 施策を推進するための主要な事業（総合発展計画掲載事業及び主要なソフト事業）
- ・ 一般事業 : 主要事業以外の事業
- ・ 事務 : 主要事業に従って実施する個々の方策、その他これに類するもの



事業評価は、図－4に示すように、内部評価（平成18年度から実施）と外部評価（平成22年度から実施）から構成されている。内部評価では、各部署等による一次評価、内部評価部会による二次評価、各部長級職員により構成される庁内行政評価委員会による総合評価が実施される。

〔図－４〕 事業評価の考え方



- ① 各部局等では主要事業について評価し、結果を提出する。
- ② 内部評価部会では、一次評価結果を受けて検討し、二次評価を行う。
- ③ 庁内行政評価委員会では、二次評価結果を受けて検討し、総合評価を行う。
- ④ 外部評価委員会では、総合評価の結果を検証し、意見等を付して報告する。
- ⑤ 総合評価及び外部評価の結果を公表する。

【第1回内部評価部会の様子】



7. 外部評価の進め方

(1) 現地視察調査

第2回外部評価委員会では、外部評価委員を5名ずつの2班に分け、現地視察調査を行った。調査先等は以下のとおりである。

〔A班〕

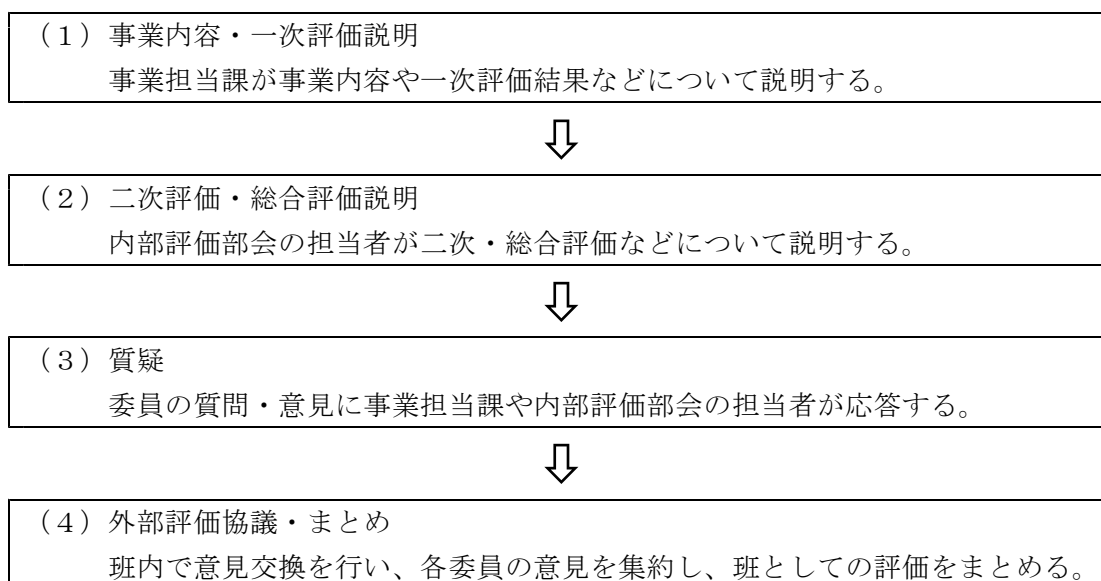
事業名	調査先
鳥海地域統合小学校建設事業	鳥海地域統合小学校建設現場
市町村有償運送（コミュニティバス）への再編	かしわ温泉前バス停
本荘中央地区土地区画整理事業	街区公園など
図書環境整備事業	中央図書館

〔B班〕

事業名	調査先
水林球場改修事業	水林球場
木材乾燥貯蔵施設建設事業	本荘由利森林組合木材乾燥貯蔵施設
道路維持事業	市道薬師堂・藤崎線
農商工連携「五感」体験推進プロジェクト	五峰苑（本荘地域赤田町内）
指定管理者制度（対象施設：PR館おおうち）	PR館おおうち

(2) ヒアリング調査

第3回から第5回の外部評価委員会では、外部評価委員を5名ずつの2班に分け、各班の評価対象事業を6事業ずつとして評価を行った。



平成24年度 由利本荘市行政評価結果

平成23年度に市が実施した121事業の中から外部評価委員会が選定した12事業を評価した。

由利本荘市重点施策

- I 地域に開かれた住民自治のまちづくり
- II 活力とにぎわいのあるまちづくり
- III 健やかさとやさしさあふれる健康福祉のまちづくり
- IV 恵まれた自然とやすらぎのある環境共生のまちづくり
- V 豊かな心と文化を育むまちづくり
- VI 心ふれあう情報と交流のまちづくり
- VII 行財政改革による健全なまちづくり
- VIII その他

必要性・有効性・効率性・公平性（各4点満点）の合計により下記の評価とした。

- A：16点～14点 ← 計画どおりに達成できた。
- B：13点～11点 ← おおよそ計画どおりに達成できた。
- C：10点～ 8点 ← 見直しの検討を要する。
- D： 7点～ 4点 ← 大幅な見直しを要する。

A班

事業No.	主要事業名（名称）	内 部 評 価						外部評価	
		一次評価		二次評価		総合評価		点数	結果
		点数	結果	点数	結果	点数	結果		
I-003	地域づくり推進事業	14	A	13	B	13	B	12	B
II-021	市町村有償運送(コミュニティバス)への再編 【定住自立圏構想推進事業】	14	A	15	A	13	B	13	B
II-028	地域おこし協力隊事業	14	A	14	A	15	A	12	B
IV-011	本荘中央地区土地区画整理事業	16	A	15	A	15	A	14	A
V-001	鳥海地域統合小学校建設事業	16	A	16	A	16	A	16	A
V-011	図書環境整備事業 【住民生活に光をそそぐ交付金事業】	14	A	14	A	14	A	13	B

B班

事業No.	主要事業名（名称）	内 部 評 価						外部評価	
		一次評価		二次評価		総合評価		点数	結果
		点数	結果	点数	結果	点数	結果		
II-006	農商工連携「五感」体験推進プロジェクト 【定住自立圏構想推進事業】	15	A	15	A	15	A	14	A
II-009	木材乾燥貯蔵施設建設事業 【地域雇用創出推進基金事業】	15	A	12	B	11	B	10	C
III-015	子育て支援金支給事業	15	A	15	A	15	A	13	B
V-007	水林球場改修事業	14	A	15	A	15	A	12	B
VI-006	道路維持事業 【地域雇用創出推進事業】	14	A	13	B	13	B	14	A
VII-002	指定管理者制度(対象施設:PR館おおうち)	11	B	10	C	9	C	14	A

2. 評価対象事業の外部評価結果

(1) 地域づくり推進事業

事業No.	I-003	事業名	地域づくり推進事業
各 項 目 に よ る 評 価	必要性	<input type="checkbox"/> 4点 <input checked="" type="checkbox"/> 3点 <input type="checkbox"/> 2点 <input type="checkbox"/> 1点 (コメント) ・ 市民ニーズの把握方法（全応募）の公開がポイントと考える。 ・ 重要である。 ・ 少子高齢化に対応するため必要性は大きい。	
	有効性	<input type="checkbox"/> 4点 <input checked="" type="checkbox"/> 3点 <input type="checkbox"/> 2点 <input type="checkbox"/> 1点 (コメント) ・ 継続性が採択に活かされているか。 ・ しゅきみ作りをして欲しい。 ・ 制度の見直しが必要である。	
	効率性	<input type="checkbox"/> 4点 <input checked="" type="checkbox"/> 3点 <input type="checkbox"/> 2点 <input type="checkbox"/> 1点 (コメント) ・ 成果目標と実績を補助事業者より報告として取りまとめるべき。 ・ 新規事業の補助率は100%でもよい。 ・ 一律補助金の見直しが必要である。	
	公平性	<input type="checkbox"/> 4点 <input checked="" type="checkbox"/> 3点 <input type="checkbox"/> 2点 <input type="checkbox"/> 1点 (コメント) ・ 地域によって差があると思われる。 ・ 一律の補助率は効率的とは言い難い。 ・ 実行委員会や観光協会との打合せも必要である。 ・ 地域審査を止めるべきである。	
総合 評価	合計点 12	(コメント) ・ データベースによる評価を取り入れる。 ・ PRにもっと取り組む。 ・ 必要性はあるがもう少しきめ細かい対応が必要である。	
	評価 B		

良かった点、改善点等の提案

良 か っ た 点	(コメント) ・ 76件74事業が実施され、まちづくりに寄与している。
改 善 点	・ 補助金が重複して交付されていないかの確認が必要である。 ・ 事業採択にあたり、関係機関との協議が必要である。 ・ 一律の補助率の見直しは必要である。 ・ 事業結果の情報公開が必要である。 ・ 事業のPR方法の改善が必要である。

(2) 市町村有償運送（コミュニティバス）への再編

事業No.	Ⅱ-021	事業名	市町村有償運送（コミュニティバス）への再編
各 項 目 に よ る 評 価	必要性	<p style="text-align: center;">■ 4点 □ 3点 □ 2点 □ 1点</p> <p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通弱者対策として十分に対応している。 ・通院、買い物弱者を出さないため必要である。 ・ニーズはある。 	
	有効性	<p style="text-align: center;">□ 4点 ■ 3点 □ 2点 □ 1点</p> <p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域にとっては有効と考えるが、ダイヤを工夫し利便性を向上させる必要がある。 ・乗車率が目標に達していない。 	
	効率性	<p style="text-align: center;">□ 4点 ■ 3点 □ 2点 □ 1点</p> <p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他市町村との比較が必要ではないか。 ・従来のバス運行路線と同様にせず、効率を追求すべき。 	
	公平性	<p style="text-align: center;">□ 4点 ■ 3点 □ 2点 □ 1点</p> <p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行路線全てが同一料金であり公平性は保たれている。 ・無料利用が多い。 ・ダイヤの改正等で利用率を高める必要がある。 	
総合 評価	<p>合計点</p> <p style="text-align: center;">13</p> <p>評価</p> <p style="text-align: center;">B</p>	<p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経費が節減された。 ・運行開始後の利用者アンケートを継続して行い、更なる利用者の利便性向上を図る必要がある。 ・市全体の交通手段のあり方の基になれるようにするべき。 	

良かった点、改善点等の提案

良 か っ た 点	<p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス路線を確保しながら、経費が軽減されている。
改 善 点	<p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運賃收受方法の見直しが必要である。 ・運行経路および運行ダイヤの見直しが必要ではないか。 ・オンデマンド運行方式の採用など乗車率の向上対策を検討すべき。

(3) 地域おこし協力隊事業

事業No.	II-028	事業名	地域おこし協力隊事業
各 項 目 に よ る 評 価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 4点 <input type="checkbox"/> 3点 <input type="checkbox"/> 2点 <input type="checkbox"/> 1点 (コメント) ・観光産業は重要である。 ・ニーズは十分ある。 ・地域を活性化する狙いは評価される。	
	有効性	<input type="checkbox"/> 4点 <input checked="" type="checkbox"/> 3点 <input type="checkbox"/> 2点 <input type="checkbox"/> 1点 (コメント) ・継続が問題である。 ・初年度としては一定の評価が出来るが、期待値を下回っている。 ・指標がないため有効性を判断できない。	
	効率性	<input type="checkbox"/> 4点 <input type="checkbox"/> 3点 <input checked="" type="checkbox"/> 2点 <input type="checkbox"/> 1点 (コメント) ・物を売る、作るだけではない。 ・市単独費の持出がないことは良いことなのか。 ・全体事業費での費用対効果の評価を行うべき。	
	公平性	<input type="checkbox"/> 4点 <input checked="" type="checkbox"/> 3点 <input type="checkbox"/> 2点 <input type="checkbox"/> 1点 (コメント) ・地域公平を狙うこと。 ・全市的な活動になっていない。 ・初年度のため地域が限定されていない。	
総合評価	合計点 12 評価 B	(コメント) ・人の交流、定住への誘引との繋がりがよく見えない。 ・民間と協力すると良いことがある。	

良かった点、改善点等の提案

良かった点	(コメント)
改善点	(コメント) ・定住対策事業を行っている市の他部署や各種団体（観光協会、商工会等）との連携協力により更なる効果が期待できる。 ・事業の効果を把握するための指標設定が必要ではないか。

(4) 本荘中央地区土地区画整理事業

事業No.	IV-011	事業名	本荘中央地区土地区画整理事業
各 項 目 に よ る 評 価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 4点 <input type="checkbox"/> 3点 <input type="checkbox"/> 2点 <input type="checkbox"/> 1点 (コメント) ・ニーズはある。	
	有効性	<input type="checkbox"/> 4点 <input checked="" type="checkbox"/> 3点 <input type="checkbox"/> 2点 <input type="checkbox"/> 1点 (コメント) ・現在の形で真の活性化が出来るか疑問である。	
	効率性	<input type="checkbox"/> 4点 <input checked="" type="checkbox"/> 3点 <input type="checkbox"/> 2点 <input type="checkbox"/> 1点 (コメント) ・個々の費用をもう少し減らして範囲を拡大すべきである。	
	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 4点 <input type="checkbox"/> 3点 <input type="checkbox"/> 2点 <input type="checkbox"/> 1点 (コメント) ・中心市街地道路整備により一般市民の利便性も向上している。 ・ほんの一部の人達の利益となっている。	
総合評価	合計点 14 評価 A	(コメント) ・長期にわたる継続事業であり、単年度事業のみを評価することは難しい。	

良かった点、改善点等の提案

良かった点	(コメント) ・中心市街地の一方通行が解消されるなどインフラが整備された。
改善点	(コメント) ・ソフト面で他部局と連携して賑わい創出、活性化方策を展開して欲しい。

(5) 鳥海地域統合小学校建設事業

事業No.	V-001	事業名	鳥海地域統合小学校建設事業
各 項 目 に よ る 評 価	必要性	<p>■ 4点 □ 3点 □ 2点 □ 1点</p> <p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震は必要。 ・ニーズに十分対応している。 ・安全安心面から重要であり、複式学級解消も重要である。 	
	有効性	<p>■ 4点 □ 3点 □ 2点 □ 1点</p> <p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全、安心な学校生活に十分機能している。 ・十分機能している。 	
	効率性	<p>■ 4点 □ 3点 □ 2点 □ 1点</p> <p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経費の縮減に努めている。 ・建設費の節約は評価される。 ・人的コスト減も評価しても良い。 ・通学コストの変動が試算されていない。 	
	公平性	<p>■ 4点 □ 3点 □ 2点 □ 1点</p> <p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十分ある。 ・公平である。 	
総合 評価	合計点 16	<p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の鳥海中学校と校舎を一部共有するなどコスト低減が図られている。 	
	評価 A		

良かった点、改善点等の提案

良 か っ た 点	<p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心、安全な学校施設と複式学級の解消に有効であった。
改 善 点	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス運行費用の試算が必要だったのではないか。 ・グラウンド共有について安全性の配慮をお願いしたい。

(6) 図書環境整備事業

事業No.	V-011	事業名	図書環境整備事業
各 項 目 に よ る 評 価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 4点 <input type="checkbox"/> 3点 <input type="checkbox"/> 2点 <input type="checkbox"/> 1点 (コメント) ・ニーズは十分にある。	
	有効性	<input type="checkbox"/> 4点 <input checked="" type="checkbox"/> 3点 <input type="checkbox"/> 2点 <input type="checkbox"/> 1点 (コメント) ・利用者は増加しているが、計画数値が曖昧で真に有効とは言えない。	
	効率性	<input type="checkbox"/> 4点 <input checked="" type="checkbox"/> 3点 <input type="checkbox"/> 2点 <input type="checkbox"/> 1点 (コメント) ・利用者は増加しているが、計画数値が曖昧で真に有効とは言えない。	
	公平性	<input type="checkbox"/> 4点 <input checked="" type="checkbox"/> 3点 <input type="checkbox"/> 2点 <input type="checkbox"/> 1点 (コメント) ・各図書館、図書室の図書購入費平準化が示されていない。	
総合 評価	合計点 13	(コメント) ・利用者アンケートを継続し、利用者ニーズを大切にしたい。	
	評価 B		

良かった点、改善点等の提案

良かった点	(コメント)
改善点	・中央図書館として、他の図書館の利用率向上や選書指導等の指導強化を望む。

(7) 農商工連携「五感」体験推進プロジェクト

事業No.	II-006	事業名	農商工連携「五感」体験推進プロジェクト
各 項 目 に よ る 評 価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 4点 <input type="checkbox"/> 3点 <input type="checkbox"/> 2点 <input type="checkbox"/> 1点 (コメント) ・総合評価は妥当である。 ・地域の活性化は必要である。 ・高齢化、過疎化で地域の絆が無くなってきている。だからこの事業は必要である	
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 4点 <input type="checkbox"/> 3点 <input type="checkbox"/> 2点 <input type="checkbox"/> 1点 (コメント) ・総合評価は妥当である。 ・協力隊の力を得て有効に考えましょう。 ・市職員の協力で効果的に推進される。	
	効率性	<input type="checkbox"/> 4点 <input checked="" type="checkbox"/> 3点 <input type="checkbox"/> 2点 <input type="checkbox"/> 1点 (コメント) ・他地区に及ぼす効果も今ひとつ考える必要がある。 ・地域の人たちの動き出しが不可欠である。 ・即効性を求めるのは無理。未永く進める方向性を検討する。	
	公平性	<input type="checkbox"/> 4点 <input checked="" type="checkbox"/> 3点 <input type="checkbox"/> 2点 <input type="checkbox"/> 1点 (コメント) ・総合評価は妥当である。 ・市街地も大変な状態になっている。 ・他集落にも受益が広まるよう進めて欲しい。	
総合 評価	合計点 14	(コメント) ・継続するための工夫と支援が必要である。 ・事業期間中の3年間の活動継続はもちろん、終了後も引き続き集落の取り組みがなされるよう期待する。	
	評価 A		

良かった点、改善点等の提案

良 か っ た 点	(コメント) ・やる気のある集落に活気付けをした。 ・総合支所職員による事務局担当は継続のために大変重要である。 ・支援員、協力隊員はよく頑張っている。
改 善 点	(コメント) ・他事業と抱き合わせについて検討して欲しい。 ・継続して欲しい。 ・「五感」の意味が良く伝わらない。

(8) 木材乾燥貯蔵施設建設事業

事業No.	II-009	事業名	木材乾燥貯蔵施設建設事業
各 項 目 に よ る 評 価	必要性	<input type="checkbox"/> 4点 <input checked="" type="checkbox"/> 3点 <input type="checkbox"/> 2点 <input type="checkbox"/> 1点 (コメント) ・総合評価は妥当である。 ・施設の必要性を感じられない。 ・木材価格低下に対して付加価値を高めることの必要性を認める。	
	有効性	<input type="checkbox"/> 4点 <input type="checkbox"/> 3点 <input checked="" type="checkbox"/> 2点 <input type="checkbox"/> 1点 (コメント) ・事業目的に対して実績がなく、有効性を判断しにくい。 ・家が一軒建てられる分の木材をプレゼントするのであれば有効だと思う。 ・活用実績がない、早急に有効活用策を検討すべき。	
	効率性	<input type="checkbox"/> 4点 <input checked="" type="checkbox"/> 3点 <input type="checkbox"/> 2点 <input type="checkbox"/> 1点 (コメント) ・総合評価は妥当である。 ・乾燥施設があることは良いことだと思う。 ・早急にプレゼント事業を実施してもらいたい。	
	公平性	<input type="checkbox"/> 4点 <input type="checkbox"/> 3点 <input checked="" type="checkbox"/> 2点 <input type="checkbox"/> 1点 (コメント) ・具体的なプレゼント方法、木材の活用について何も見えない。 ・山林を所有していない市民にはメリットが無く、公平性があるとは思えない。 ・受益者が限定される。	
総合 評価	合計点 10	(コメント) ・施設を造るまではよいが、その後の活用は他人事のように感じられる。 ・森林保全の観点から必要な施設だと思う。 ・施設のPRを行い、事業が推進されることを望む。	
	評価 C		

良かった点、改善点等の提案

良 か っ た 点	(コメント) ・事業の発想は良いと思う。 ・施設は非常に良くできている。補助金の額もやむを得ない。 ・森林組合から施設建設を許可してもらったこと。 ・地元産材の有効活用は評価出来るが、PR方法を検討すべき。
改 善 点	(コメント) ・実際の活用に対する市の意思が見えにくい。 ・施設を活用した具体的な地元産材の消費拡大策が必要である。

(9) 子育て支援金支給事業

事業No.	Ⅲ-015	事業名	子育て支援金支給事業
各 項 目 に よ る 評 価	必要性	<p style="text-align: center;">■ 4点 □ 3点 □ 2点 □ 1点</p> <p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口増と負担軽減のために必要である。 ・由利本荘市というローカルな観点からも必要である。 ・経済的に不安定な時期の子育てには色々問題があるため必要である。 	
	有効性	<p style="text-align: center;">□ 4点 ■ 3点 □ 2点 □ 1点</p> <p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期的に見ると少子化対策として有効である。 ・他の定住確保、活性化策と一体となって効果が生まれる。 ・支給金額がどれ程が良いのか判断し兼ねる。 ・少子化対策として長期にわたり継続することにより効果が期待できる。 	
	効率性	<p style="text-align: center;">□ 4点 ■ 3点 □ 2点 □ 1点</p> <p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口流出対策的には他市町村より有効である。 ・金額や支給期間は変えない方が良い。 	
	公平性	<p style="text-align: center;">□ 4点 ■ 3点 □ 2点 □ 1点</p> <p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・父母に支給するのは良い。子どもは市民全体の財産である。 ・対象者への情報提供が確実に行われ、申請主義の観点から適切である。 ・相談窓口をしっかりと持つことにより公平性が保たれる。 	
総合 評価	合計点 13	<p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業継続により更に効果が得られると思われる。 	
	評価 B		

良かった点、改善点等の提案

良 か っ た 点	<p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化対策として他自治体よりも良い。
改 善 点	<p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートや追跡調査により、事業効果が明確になる。 ・複数ある事業目的について、優先順位を明確にするべきである。 ・祝い金が主たる目的ならば第一子より支給するべきである。

(10) 水林球場改修事業

事業No.	V-007	事業名	水林球場改修事業
各 項 に よ る 評 価	必要性	<p style="text-align: center;">□ 4点 ■ 3点 □ 2点 □ 1点</p> <p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公認球場への改修として必要はあるが、改修前と同じ使用回数では問題がある。 ・公認規格化して、無理に大会を開催することは問題である。 ・地域スポーツ振興を主体と考えると必要性は問題と思う。 	
	有効性	<p style="text-align: center;">□ 4点 ■ 3点 □ 2点 □ 1点</p> <p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場不足は永遠の課題である。 ・エリア全体の活用の利便性を考えると、駐車場不足がネックとなり評価を下げざるを得ない。 ・現在の市の状況で敢えて野球場にこれだけの費用を使うことは疑問。 ・幅広い活用はよいが、ナイターや室内練習場を含めて検討を。 	
	効率性	<p style="text-align: center;">□ 4点 ■ 3点 □ 2点 □ 1点</p> <p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球場だけでなく総合運動公園全体を総合的に年次計画で整備すべき。 ・人工芝の導入により完成後の維持管理費の節減が見込まれるが、スコアボードはオーバースペックではないか。 ・補助金、助成金、合併特例債を良く活用している。 ・他施設と比較して金をかけすぎ。 	
	公平性	<p style="text-align: center;">□ 4点 ■ 3点 □ 2点 □ 1点</p> <p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用料も低く抑えられる見込みである。 ・人工芝にしても野球以外の利用は考えられない。 ・個人でも利用可能であり公平性は確保している。 ・野球、グラウンドゴルフ以外の利活用を図るべき。 	
	総合評価	<p>合計点 12</p> <p>評価 B</p> <p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場不足の問題解決も同時に行われればもっと良かった。 ・公認規格の球場として整備されたことは評価出来るが、完成後有効活用が図られることを期待する。 ・市の野球人口が増える対策を考えるべき。 ・総合的計画（陸上競技場、テニスコート）と駐車場を検討すべき。 	
良かった点、改善点等の提案			
良かった点	<p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改修された球場を使ってみたい。 		
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・総合運動公園全体の駐車場不足解消を図ってもらいたい。 		

(11) 道路維持事業

事業No.	VI-006	事業名	道路維持事業
各 項 目 に よ る 評 価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 4点 <input type="checkbox"/> 3点 <input type="checkbox"/> 2点 <input type="checkbox"/> 1点 (コメント) ・道路空間維持の必要性は高いが、人口が減少しているなかで手法の検討が必要である。 ・市民生活の安全のために必要である。	
	有効性	<input type="checkbox"/> 4点 <input checked="" type="checkbox"/> 3点 <input type="checkbox"/> 2点 <input type="checkbox"/> 1点 (コメント) ・全市的な計画策定が必要である。	
	効率性	<input type="checkbox"/> 4点 <input checked="" type="checkbox"/> 3点 <input type="checkbox"/> 2点 <input type="checkbox"/> 1点 (コメント) ・年次計画を策定し単年度事業で工事した方が低コストである。 ・調査表の作成、マニュアル等を活用すると効率的である。	
	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 4点 <input type="checkbox"/> 3点 <input type="checkbox"/> 2点 <input type="checkbox"/> 1点 (コメント) ・市民が平等に利用できる。 ・市民の費用負担がない。	
総合評価	合計点 14 評価 A	(コメント) ・地域住民との協働が図られている。	

良かった点、改善点等の提案

良かった点	(コメント) ・調査表を評価点数化したのは良い。 ・地域住民との協働による管理は良い。
改善点	(コメント) ・調査表導入をPRすれば、道路維持整備を要望している地域住民の理解が得られる。 ・予算の確保を図るべきである。 ・道路パトロールを強化して欲しい。

(12) 指定管理者制度 (対象施設：PR館おうち)

事業No.	VII-002	事業名	指定管理者制度 (対象施設：PR館おうち)
各 項 目 に よ る 評 価	必要性	<p style="text-align: center;">■ 4点 □ 3点 □ 2点 □ 1点</p> <p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> 合理的な施設の利用に有効である。 無人駅化対策として有効である。 市民ニーズに対応している。 	
	有効性	<p style="text-align: center;">□ 4点 ■ 3点 □ 2点 □ 1点</p> <p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題解決になっているのではないか。 ある程度有効であるが、期待したものが全て実現していない。 施設そのものに限界を感じる。 	
	効率性	<p style="text-align: center;">□ 4点 ■ 3点 □ 2点 □ 1点</p> <p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者の工夫・改善を求める形になっている。 賑わいのある反対側からの誘客を図るべき。 指定管理者も利用できる。 指定管理者の効率を上げる努力が足りない。 	
	公平性	<p style="text-align: center;">■ 4点 □ 3点 □ 2点 □ 1点</p> <p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> この施設は指定管理者が公募されていない。 現行の方法以外はあまり期待できない。 	
総合 評価	合計点 14	<p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> 内部評価では、施設そのものについての視点で評価を行っているため低評価であったが、外部評価では、指定管理者制度導入についての視点で評価を行った。市が直営時に対応出来なかった施設の有効利用まで指定管理者に求めるのは酷である。 	
	評価 A		

良かった点、改善点等の提案

良 か っ た 点	<p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度導入により市民サービスが向上した。
改 善 点	<p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度を導入する、また継続する場合、施設のあり方を検討するべき。

Ⅲ 総括及び提言

本章では、第6回外部評価委員会において各委員から提案された意見等をまとめたものを記載している。

1. 平成24年度外部評価作業を実施した所感

どんなことをすれば良いか、初めはさっぱり分からなくて、無事に終わって良かった。個人的には、文化交流館カダーレの評価をしたかった。商工会の関係から、前年度にカダーレの評価をしたことや、観光協会補助事業がC評価だったことの情報も入っていたので、そういった評価が今回こういうようになったという結果も知れば良いと思っていた。カダーレの場合、もっともっと直さないといけないところがいっぱいある。それを言いたくて対象事業選定時にカダーレに○を付けたが、誰も○を付けた人がいなくて残念だった。(吉田委員)

終わってしまったことを評価しても何ともならないのではないかという考えが最初あった。内部評価等々の流れは良くできている。ただ、結果論としては、次年度事業にどう活かしたいのかという視点が曖昧なので、こういう形で活かされたということが見えてくると、評価のやり方も内容も充実してくると思うが、その辺のところが見えない。評価した結果を次にどう活かしていくのかという視点を、行政できちんと受け止めてくれるかどうか。その辺が気になる。(松田委員)

内部評価の一次評価の担当者は、その事業の計画や立案の段階から携わってきたのではなく、2～3年前から、或いは今年から担当し、与えられた予算と工期内でいかに対応したかに対する評価でなかったか。良い評価なのは当たり前と考える。自分でした仕事にCとかDとかつけることはないと思う。二次評価、総合評価、外部評価をする立場の皆さんは、行政の代表であって、市民の代表の皆さんなのだから、そういったところをきちんと見通しての評価をしていかなければならない。

敢えて外部評価に、内部評価はどうなのかといった注文を出さなくても良いのではないか。内部評価を総合評価までしっかりやって、市長なり議会に報告すれば、最終的には議会できちんと判断するということになるのではないか。(細矢委員)

一点目は、評価は過去のもので、それに出た課題を次にどう活かすのかが見

えないと感じた。

二点目は、二次評価以降で市民目線がどの程度入っているのかという疑問を持った。我々一般では、お客さん目線という世界で動いている。(伊藤委員)

地域づくり推進事業だが、補助対象は市民5人以上の自主的な団体と明記しているが、既存の公共的な団体に補助金が流れているという実態がある。補助金は出しても良いが、もう少しきちんと審査をする必要があるのではないかと。市役所の人にはきちんと審査をしていると言うが、我々から見ると、その辺の整合性に疑問がある。

評価対象事業の選定方法に一工夫しても良いのではないかと。委員の要望の多さだけで決めず、この事業を評価しても良いのかということをも1回目の全体会議の中で揉んで、その中から得票の多かったものを優先しながら選ぶべきではないかと。今回は評価になじまない事業が選ばれてしまったのかなと思うので、その辺を検討してほしい。

一部に人件費のみの評価や、複数の事業を合わせなければ評価できないものがあったが、うちの課は関係ないというような回答があまりにも多くて、非常に評価しづらかった。

プレゼンは職員の不慣れさが目立った。関連事業の資料を持ってきて、ある程度のことは答えてほしい。我々は人件費だけ、ハードだけ、ソフトは分からない、では評価にはならない。細かいところまで答えろとは言わないが、ある程度は大雑把でも良いので、回答した上で、我々はハードだが、ソフトはこの程度使っているくらいの答弁はできる形でプレゼンしてほしい。

前年と同じ事業が今年2つほど採り上げられたが、前年どういう質問をされたのか何も把握していない。前年指摘されたことに対しても、分からない、検討していないとの回答だったが、よくよく後で聞くと、それは検討したということもあった。プレゼンする以上は、前年はどういう質問が出たとか、どういう意見が出てくるだろう、そのためにはどういうことを準備しないといけないかということを中心にきちんと考えた上でプレゼンしてほしい。要望事項が出たものについては、監査ではないので必ず改善しろとは言わないが、こういう検討をしたということだけは明確に答えてほしい。

事務局に対してだが、プレゼン資料を去年は1週間前はかなりもらえたが、今年はもらえなかった。当日見て判断しないといけないことも多かった。プレゼンは本当に良いところだけしか出ていないし、事業費が2億円あるのに、出てくる数字は500万円の事業の内訳しか出てこないということもあったり、非常に判断がしにくかったところがあるので、ある程度の全体像、個別のところを含めた資料を、少なくとも1週間くらい前には出せるようにしてもらえ

ばありがたい。

二次評価、総合評価で点数が上がった場合、なぜ点数が上がったのか説明者が明確に答弁できるよう、内部で調整して外部評価に臨んでほしい。

指標が全く出ていない事業が多い。無理にでも指標を設定し、それに向かった結果どうなったのかを出してもらわないと評価できない。来年度以降、改善してもらえるとありがたい。(鎌田委員)

自分の所管の事業費はこれだが、事業全体としては他の部署と関係があるという事業が、今回の対象事業の中に何件かあったが、担当者は自分の部分だけしか分からない。他の部分は関係ないと言うが、やはり外部評価としては全体の中で評価をするので、その辺がかみ合わないところがあり、評価するのに物足りなさを感じた。

対象事業を選定するときに、例えば本荘中央地区土地区画整理事業のように、20年もかかる事業の最後の方の一年だけを評価するということは、なかなか無理がある。対象事業選定の段階で工夫が必要か、と思う。(佐藤委員)

子育て支援金支給事業だが、由利本荘市全体で7～8年前は600人産まれたものが、去年あたりは500人になっている。子育て支援の祝い金を第2子に10万円、第3子以降に20万円を支給しているが、それがどの程度効果があるかということを追跡調査等してもらい、施策として評価するべきではないか。例えば、鳥海地域統合小学校建設事業だが、今は150人体制でも10年後には50人体制になるかも分からない。建物を造るのは良いが、人を産んで育てるということは大変なことなので、追跡調査的なアンケート等をすれば、次の施策として、このようなことをするべきでないかというものが出てくると思う。

担当者が2年ほどで替わるため、前年の資料等の検証をきちんとやっていないのではないか。できた経緯から現在の状況、将来はこうあるべきだという明確なビジョンがないと、施策には活かされないのではないか。(加藤委員)

初めて外部評価をさせてもらい、皆さんが熱心で、しかも鋭い質問をするということに大変驚いた。問題は、評価し、または批判するのは非常に簡単だが、それをどう活かすかがないと、ただ言いつ放し、批判しつ放しという形になってしまう。悪いところををどうしたら良いのかという提言をしないと何の意味もないので、なるべく具体的にどうすれば良いのかという方向でまとめたつもりだが、まだまだ不足だった。これをフィードバックするようなシステムがあれば良いと思う。新鮮な体験だった。(谷内委員長)

昨年までは女性が2名入っていたが、残念ながら今回は1名ということで、やはり外部評価委員会の中に女性目線をもう少し入れ込んだ方が良いのかなという印象を受けている。(佐藤委員)

委員の推薦を各団体に依頼した際、できれば女性の方をというお願いもしてはいるが、どうしても都合がつく方をということで、今回は吉田委員お一方になってしまったが、市としても各種委員会の女性の登用率という命題はあり、少なくとも30%は女性委員となるよう目指しているところである。来年の公募委員の募集に是非女性の公募もあれば良いと考えているので、ご理解いただきたい。(事務局)

一般財源を使っていないから良しとする内部評価の意見があったが、一般財源でなくても税金には変わらないのだから、そのような評価はやめた方が良くと思う。内部評価を始める段階から徹底すべきでないか。(鎌田委員)

部分最適の点から、一般財源を使っていないのだから節約したと考える傾向が市の職員の中にあるのだろうか。(谷内委員長)

外部評価制度は良いことだと思うが、一般ではミステリーショッパーという手法を使い、お客さんになりすまして色々なことを評価する。大阪市の橋下市長が市の隅々まで知り得たのは、市民になりすまして行政の窓口に行き、こんなことがあった、あんなことがあったという事実のアウトプットをピックアップしたためである。そういうことをやっているところもある。外部評価の制度そのものは良いが、もっと市民の目線は厳しいという認識を行政に持ってほしい。(伊藤委員)

私はローソンを経営しているが、ミステリーショッパーが1年に2回来る。それでABCランクに評価される。事前には何も知らされていないので、大体今頃来るということをスーパーバイザーから言われる。毎日ミステリーショッパーが来るという気持ちでやってほしいと私たちは思っている。資料云々は関係なく、行ったその場で意見を聞くというのがミステリーショッパーである。資料をきちんと渡されていて、答弁も決まっているようであれば、外部評価は意味があるように思っている。私はそういう厳しい状況下に置かれてやっているのだから、そういった形も取るべきでないかと思う。(吉田委員)

職員の方はどう考えるか。(谷内委員長)

職員研修の一環で接遇等色々実施しているが、ある講師の方がお忍びで庁内を回って来客対応、電話の対応等々について、こっそりチェックするということもやってはいる。ただ、外部評価に挙げたような事業に対して、ミステリーショッパーの手法が有効なものもあれば、そうでないものも多分あるかと思われるので、その辺は上手く使い分けできれば良いか考える。もしかして、来年は外部評価委員にミステリーショッパーになっていただくというようなことも、実際にやれるかどうか分からないが、そういったことも出来ればよいと思う。(事務局)

2. 行政評価システム等について改善・工夫が必要な事柄

行政評価システムだが、普通大体10点法でやる。例えば、Aでも限りなく満点に近い10点、Bに近いがAにしても良いという8点とか、10点の中に評価する人が感じたことを表せる。10点から8点までがAで、7点から5点までがBで、4点から3点までがCというような分け方をするわけだが、同じCの中でも厳しいC、同じAの中でも厳しいA、Bの中でもうちょっと何かがあればAになるというものもあると思うので、評価システムをこれから変える予定があるのであれば、できれば10点法にした方が評価する人もやりやすいのではないかと思う。(伊藤委員)

前は評価項目数が多く5点法だった。5点法にした場合、どちらでもない、どっちともとれるということで、可もなく不可もなくという3点が非常に出現率が高いという統計がある。4点法とした場合は、はっきり4、3、2、1のどれか、対象が狭まることによって、より現実に近い数字が出るのかなという思いもあり、敢えて5点法、10点法を採用しなかった理由の一つでもある。皆さんが引き続き評価すると仮定した場合、10点法の方がプラスアルファなり、ダッシュがつくなり、Aの○△といった評点をつけることもできるかなという話だったが、もし、そういうことの検討が必要であれば、検討させていただく。(事務局)

8点、9点、8点、10点、10点という評価になったら、最終的に評価に落とし込むときに4で割れば良い。同じAの中でも高いAと低いAというものがあって、本来から言えば、A、Aダッシュ、B、Bダッシュ、C、Cダッシュである。細かい評価というものは自己満足をさせない方法である。Aがつけば、限りなく良いAでも、もうちょっと頑張れという意味が含まれたAでも、この事業はAだという自己満足に陥りやすい。それが細かく評価する視点なの

で、是非検討していただいた方が良いと思う。(伊藤委員)

同じ4点の中であっても、3.5点の4点もあったということを考えると、それが良いかもしれない。(佐藤委員)

B班でも、3.5点や2.5点を四捨五入し、結果として評価が高くなった例が結構あった。(吉田委員)

例えば、Aの中でも14点から16点までの3点の幅がある。14点のAと16点のAでは、評価の尺度も見方が違うことも明瞭に分かるかなと思ってはいるが、今日、ここで結論を出すということではなく、次年度の評価に向けて研究させてもらいたい。(事務局)

10点法は10点法としての効果はあると思うが、5点法よりは4点法の方が良い。(細矢委員)

3. その他意見等

先ほども言ったが、カダーレについて、多くの市民が使い勝手が良くないと言っている。トイレを出たらどっちに行っても良いか分からなくて迷っている人がいる。よく病院に行けばあるように、レントゲンはこの赤い線、こっちに行けばハリハビリの線というように、ラインを引くという手もあるのでないか等、色々な意見を皆が出している。そういうようなことを言いたかった。昨年度から継続の委員さんがいるので、昨年度のカダーレの評価で意見を仰ったと思うが、それが改善されているかを伺いたい。トイレも狭くてドアが内開きのため、万が一病人が行った場合に絶対に危険だし、どうやって開けるのかといった話も出ている。(吉田委員)